



令和元年9月
日本証券業協会

アジア証券人フォーラム (ASF)¹、アジア・太平洋地域の
ESG・サステナブル投資等に関する実態調査の結果を公表

アジア証券人フォーラム (ASF、事務局：日本証券業協会) では、2019年8月、アジア太平洋地域の ESG 投資及びサステナブル・ファイナンスの実態についての調査結果を取りまとめ、ASF のウェブサイトを通じて公表しました。

近年、国連が推進する SDGs (持続可能な開発目標) に対し金融・証券業界の本業を通じた貢献が期待される分野として、ESG 投資やサステナブル投資が注目を集める中、今回の調査はアジア太平洋地域における ESG 投資に関する情報を比較可能な形で収集することを目的として、ASF のメンバー機関を通じて実施され、14 法域 15 機関 (別紙参照) からの回答を取りまとめました²。

ASF では、2018 年にインドネシア バリで開催された年次総会において、アジア太平洋地域の証券市場が SDGs に積極的に取り組む決意を表明した「バリ宣言³」を採択しており、今回の実態調査は SDGs の推進に向けたイニシアチブの一環として、新たに設置された SDGs 推進のためのワーキンググループが中心となって実施されました。

今回の調査結果がアジア太平洋地域の ESG・サステナブル投資に関する参照情報として活用されることを期待しております。

掲載 URL (ASF ウェブサイト) *本文は英語

<http://www.asiasecuritiesforum.org/sdgs.php>

○ 本件に関するお問い合わせ先：日本証券業協会 政策本部 国際部 (TEL：03-6665-6764)

¹ ASF は、1995 年にアジア・大洋州地域における証券界の意見及び情報交換、証券市場の発展と経済成長への寄与を目的として本協会の提唱により設立され、現在、同地域における証券自主規制団体及び業界団体の 23 団体が参加しています。ASF の概要及び参加団体については以下 URL をご参照ください。

<http://www.asiasecuritiesforum.org/index.php>

² 各国の証券業界団体のほか、グリーンボンド原則の策定等この分野でグローバルな活動を行っている国際資本市場協会(ICMA)からも回答と補足情報が寄せられました。

³ ASF 「SDGs に関するバリ宣言」

<http://www.jsda.or.jp/about/international/ASFBaliDeclaration.html>

別紙 1: 調査への回答機関一覧

ASF メンバー一覧のうち、調査への回答機関を赤字で表示しております(14 法域・15 機関)。

No.	市場	団体名	
1	アジア	アジア証券業金融市場協会	ASIFMA
2		国際資本市場協会* アジア太平洋地域事務所	ICMA
3	豪州	豪州金融市場協会	AFMA
4	中国	中国証券業協会	SAC
5	台湾	台湾証券業協会	CTSA
6	香港	香港証券業協会	HKSA
7	インド	インド証券取引所参加者協会	ANMI
8		ボンベイ証券取引所参加者協会	BBF
9	インドネシア	インドネシア証券業協会	APEI
10	イラン	イラン証券取引仲介協会	ISEBA
11	日本	日本証券業協会	JSDA
12	韓国	韓国金融投資協会	KOFIA
13	マレーシア	マレーシア証券業協会	ASCM
14	モンゴル	モンゴル証券業協会	MASD
15	ニュージーランド*	ニュージーランド*金融市場協会	NZFMA
16	フィリピン	フィリピン証券業協会	PASBDI
17	ロシア	ロシア全国金融協会	NFA
18	シンガポール	シンガポール証券業協会	SAS
19	タイ	タイ証券業協会	ASCO
20		タイ債券市場協会	ThaiBMA
21	トルコ	トルコ資本市場協会	TCMA
22	ベトナム	ベトナム証券業協会	VASB
23		ベトナム債券市場協会	VBMA

*国際資本市場協会(ICMA)アジア太平洋地域事務所は ASF メンバーの一員であり、アジア太平洋地域を含むグローバル資本市場を代表する協会です。このため、ICMA からの回答は別枠で表示するとともに、集計の数字には含まない扱いとしています。